

広島市植物公園

見どころ案内

ミチノクフクジュソウ

(キンポウゲ科)

「春の妖精」が咲き始めています。フクジュソウ1種に分類していたものを最近では地域毎に4種類に分けることが一般的です。

展示会のご案内

◇展示資料館1階 (2/8~2/14)

カカオとチョコの秘密展

ウメ‘冬至’ (バラ科)

特に早咲きの品種で、冬至のころから咲き始めるのでこの名がつけました。一重咲きの白花が見頃を迎えています。対面にある早咲きの紅梅‘八重寒紅(やえかんこう)’は3分咲きです。紅白の対比をお楽しみください。

パフィオペディラム・

ミクランスム (ラン科)

中国雲南省原産。株の大きさに似合わず大きな花を咲かせています。ピンク色をした袋状の大きなリップ(唇弁)が特徴的です。標高の高い所に自生しているの、涼しい環境を好みます。

ブラジルデイゴ

(マメ科)

ブラジル原産の落葉小高木。ツンツンした赤い花が咲いています。近くには、直径が20cmにもなるウコンラッパバナが黄色い花を咲かせています。

嵯峨菊 (キク科)

ラン展に合わせて抑制栽培を行った菊が咲いています。通常であれば11月頃に咲きます。大温室正面外で白と黄色の花を咲かせています。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

ベゴニア温室外の南側花壇やログガーデンで咲き始めました。

カラコエのなかま (ベンケイソウ科)

カラコエのなかまがオレンジや黄色など様々な色の花を咲かせています。同じ属内でも様々な形・色・姿のカラコエを見比べながらご覧いただけます。アロエのなかまもいろいろな種類が花を咲かせています。

ストレプトカーパス

(イワタバコ科)

濃い紫と薄い紫の2種類の花がたくさん咲いています。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

紅葉のあと、春の芽出しまで落葉せずに冬を越すことから、受験に落ちないお守りの木として知られています。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産で、1~3月に黄金色のリボン状の花を咲かせます。中央部は暗赤色です。

ソシンロウバイ

(ロウバイ科)

半透明の鈍い艶がある花びらがまるで蠟細工の様にみえます。辺りに漂う香りもお楽しみください。

寒桜 (バラ科)

かなり上方で見落としがちですが、斜面中腹に早咲きの寒桜が咲いています。

ウメ園

斜面の一部で、早咲きの梅が咲き始めています。

